|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 2021第1,2,3 RUTC答えの現場(36)(社)世界福音化伝道協会　www.wedarak.net | | |
| 2021年10月02 ～ 03日週間祈りカード | | |
| 産業宣教/自殺予防専門家主管礼拝  あらかじめ、いやすべきこと（マタイ6：33） | 伝道学  237をいやした人々 (ヨハネ1:11-12) | 核心要員訓練  光の福音 (Ⅰペテ2:9) |
| □序論―傷＋心、考え、精神＋霊的問題  ▶自殺する人々を見てみると大きな傷を負った人々がたくさんする。自殺は心、考え、精神が弱い人々に多く見られるが、ここに霊的問題が襲うのだ。  1.落胆していて普段死にたいと考えている。  2.混乱状態に陥っていて、人々が自分を苦しめると言ったり、悪霊が見えるとも言う。  3.決断をするときに死をもって復讐するという強い動機を持っている。  □本論  1.霊的な病（人に言えない隠れた問題）に勝てずに来るもの  １）始まり―サタンが人間を占領した  ２）過程―偶像つまり、答えにならないもので苦しめられた→未信者の状態に陥るしかない。  ３）家系を通して個人に来ている状態  ２.いやしの前にあらかじめすべきこと－その人の特徴をキャッチ(Catch)すべ  　き  １）憎しみで満たされている。（マタイ5：24　礼拝の前に憎しみから解決しなさい）  ２）肉的  ３）恨みが多い。  この人は社会適応が難しい。  3.実際のいやしが重要。  1）環境のいやし（家族から力を得るようにすべき）  2）霊的問題を持つ人々が自ら解決できるシステムがない。「私、生きなければ」と思ったときに、それをできるシステムがなければならない。  3）幼い時に予防教育が必要  □結論―この人たちの面倒をみてあげられる集中システム  1.教会システム24－教会にきて、リラックスして力を得ることができるシステム（資料、施設が重要）  2.特別団体24  3.非対面のいやしシステム24（一番多くの重きをおくこと）－あるチャンネルやサイトにいけば、続けてみることができるようにする | ヨハネ1:11で、「イエス様が光として来られた(ヨハ1:9)」、12節には「この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子とされる特権をお与えになった」ものすごいメッセージだ。どのようにするのかに従ってみわざが起こるようになる。  ▣ 序論\_ 237をいやす条件  1. 福音が正確であれば、御座の背景が現れるため、237が可能  2. この福音をどのように伝達したのかというメッセージは現場を背景とする  3. メディアは世界化の背景だ。  ▣ 本論\_ 証拠  1. RT 7 ― 福音、メッセージ、メディアを備えること  ▷ 契約、福音を備えており、これを現場に投げかけることができる絶対条件があった。それが、メディアとなったのだ。  奴隷 捕虜 属国 流浪 ― 福音、メッセージ、メディアが入っている  2. パウロ ― 以降のことを見て３つのことをした  「ただ」だけを語った ― 福音  会堂を訪ねて行った ― 会堂はメッセージを宣べ伝える最も重要な道  書簡 ― 重要なメディア  3. ルター、カルヴァン  1) ローマ1:16-17 「ただ福音、ただ信仰によってのみ生きる」聖書翻訳  2) カルヴァンは神学的に確立した（メッセージ）  3) 政治的に安定していなかったことを活用しながら世界福音化の大きな門が開かれた。  ▣ 結論 ― 今の時代のメディア  ▷ 公礼拝の時を避けて、平日に特別な名前をつけて非対面で 「教会」を立てて礼拝を捧げなさい。聖日には自分の教会の講壇のメッセージを聞きなさい。  月曜教会 (非対面で礼拝)  未来教会 (火曜礼拝)  専門性のある教会 (日にちを決めることなく状況に従って捧げる礼拝) | 聖書は私たちに実際的に答えを受ける方法と世界福音化する方法を教えてくれている。それを見つけ出すことが重要だ。Ⅰペテロ2:9で、神様は私たちを霊的な王、祭司、預言者として召された。これはどのように可能なのだろうか。  ▣ 序論 ― 光 (救われた者だけが味わう祝福)  どのような光なのか。  1. 創1:3 創造の光  2. イザ60:1-2 この光によって諸国の民が立ち返る。  3. ヨハ1:11 イエス様ご自身が直接、光として来られた。これを信じるのであれば、神の子どもとなる特権（この光を動かす権威）を与えると言われた  4. マタイ5:13-16 あなたがたは世の光だ。  5. Ⅰペテロ2:9 この光を宣べ伝えるために召された。  なぜか。暗やみの中で死んでいくため、暗やみに光を放つのだ。  サタンの12の戦略に光を放つのだ。これが世界福音化とつながるようになる  国  この世の国　サタンの国　神の国  ネフィリムは滅びる目を開いたのだ。彼らは暗やみの主管者たちだ。  キリストがすべてを解決され、霊的な王、祭司、預言者として私たちに光の祝福を委任された。  ▣ 本論  1. 霊的な王として召され、王たちに答えを与え、光を伝達するようにされた  1) 世界化の王 ― 世界を動かす王たちに伝達されたのだ。これが237  2) 世界を動かす王たちにレムナントを送ることのできる方法が一つだけ  －レムナントを奴隷、捕虜、属国として送られた。そのため、苦しみは機会だ。  2. 霊的な祭司として召され、わざわいを防ぐ  1) 強大国の滅亡　2) 属国となった国々にあるわざわい  3) イスラエルの滅亡を防いだ。  3. 霊的な預言者として召され、偶像の中に陥っている多くの人々を生かした  1) イスラエルの霊的偶像(使1～4章)  2) マケドニヤの偶像(使13, 16, 19章)  3) ローマの偶像を打ちこわした。(主人を変えた)  ▣ 結論＿光を放つ、正しい祈りを実際に私のものに  残りの者の祈り 24　　巡礼者の祈り 25　　征服者の祈り 永遠 |
| 2021第1,2,3 RUTC答えの現場(36)(社)世界福音化伝道協会　www.wedarak.net | | |
| 2021年10月02 ～ 03日週間祈りカード | | |
| 聖日1部礼拝  アナクの山地はすでに征服されたこと(ヨシ 14:6-15) | Remnant礼拝  空前絶後以前のこと (ヨシ10:10-14) | 聖日2部礼拝/神殿建築献身礼拝  器－真の私、私のこと、私の現場(士 21:25) |
| 神様が捨てればエジプトも崩れる。神様が祝福すれば1、2人を通して、国も回復。モーセ五書がその話。アナク山地なぜまたするのか。必ず神様がくださる答えを確認すべき。何か。アナク山地はすでに征服されたことだ。神様が約束された。  □序論\_すると何を見つけるべきか  1.ヨシュアは普段にサミットタイムを味わっていた。  1)モーセを見ながら神様のみことばを普段に自分に編集  2) 40年間、祈りを継続しながら答えと関係なく神様の働きを説明(設計)  3)カナンの地に入って世界福音化することをずっとデザイン  2.祈りを普段に持っていれば、先に見る目が変わる。  1)物質(経済)を見る目が変わる。  2)問題を見る目が変わる。-過去に縛られた人は失敗。今日に縛られている人は葛藤。未来に縛られている人は必ず勝利  3)未来を見る目が変わる。アナク山地はすでに神様がくださったのだ。  3.この力を回復しなければならない。目に見える答えはそのあとから来る  □本論\_何が重要なのか。エリコ、アナク山地は重要ではない  1.民27:18神の霊の宿っている人、ヨシュア  1) 24祈りで御座の力が編集された者  2) 25祈りの設計で時空を超越した者  3)永遠という時刻表の中で祈る237の光を持った者  △これを神の霊に満たされた人。ただ主だけを見上げたこと。ただみことばだけについて行ったこと。ただ神様の力にだけついて行ったこと  2. 神の霊の宿っている人の現場  △みなさんの現場に聖霊の働きが起きた。このようになればどうなるのか。  1)過去がすべて答え－当然、必然、絶対が見える  2)今日が答え－アナク山地(カレブ=神の霊の宿っている人の現場を見る目)  3) 神の霊の宿っている人の目は未来が、すなわち答え  3. 神の霊の宿っている人の同労者二人、ヨシュアとカレブ(弟子化)  1)弟子は問題のゆえに試みに会わない  2)弟子はどんなことあっても揺れない  3)弟子は人のゆえに試みに会わない  △神の霊の宿っている人、神の霊の宿っている現場、神の霊の宿っている弟子、終わりだ。  □結論\_残った神様の計画  アナク山地征服、カナンの地に行くのではない。  237か国に、また、そこで病んでいる者、次世代を生かすこと | RTのとき、少しだけ実践すれば一生を左右することになる。それゆえ、この空前絶後以前のことが重要だ  □序論\_サミットタイム(集中ポイント)  1.霊的世界を味わう-御座の答え(ヨハ6:63)  △ヨハ6:63 -生かすのは霊で肉は無益なのだ  2.福音の力を味わう(モーセとヨシュア)  福音が私に臨んで福音の力を味わうこと、これが真の空前絶後だ。  3.歴史を味わう-サミットタイムを持つ人は歴史の流れに乗って味わう  □本論\_空前絶後の答えがくる前に三つのことをしなさい  1.空前絶後の証拠を握りなさい(契約を握ること)  1)ヨセフとともにおられた神様  2) 40年間、モーセとともにおられた証拠を見た。  3)自分自身(ヨシュア)に与えられた契約を握った。(ヨシ1:1-9)  2.空前絶後の機会にしなさい(問題がきたとき、重要な機会として握る実践をしなさい)  1)アマレク戦闘-モーセは祈って、本格的な戦いをした人がヨシュアだ。  2)ヨシ1:1-9モーセが死んでイスラエルの民が揺れたとき、空前絶後の機会にした。  3)ヨシ2:1-16イスラエルがいちばん重要な時間に斥候を送ってラハブに会ってくる。  3.空前絶後の作品を作りなさい(未信者が分からないことを分かる信仰)  1)ヨルダンを渡った-記念碑を作る  2)エリコを崩した－ただ一つ、契約と祈りだけ味わうことができるように契約の箱について行きなさい。  3)エモリ戦闘-主に語り!身分と権威を味わう祈り  □結論\_民27:18 (神の霊の宿っている人)  1.サミットタイムを持ちなさい-おもに朝時間に持ちなさい  職分を味わうタイムを持ちなさい(見張り人、医者、大使) -おもに昼の時間に持ちなさい  ただ、唯一性、再創造システムを作れ(OURS) -おもに夜の時間に持ちなさい  2.24,25,永遠の答えがくる。サミットタイムを味わっていてサミットになったのだ  3.事件に会えば、すべて機会になる。これが空前絶後、以前のことだ | △神様が願われる真の私、神様が与えられる私のこと、神様が願われる私の現場が最も良い器だ。  □序論\_ 「自分の目に正しいと見えること」-暗やみがついてくる  1.創3:4-5 (サタンの声) →創3:15  2.創6:4-5 (ネフィリムの声) →創6:14  3.創11:1-8 (人の声) →創12:1-3  4.出3:1-10 (環境の声) →出3:18  5.イザ6:1-13 (世論の声) →イザ7:14  6.マタ16:13-15 (宗教の声) →マタ16:16  7.使1:6-7 (政治的声)→使1:8  □本論\_聖書を見るとき三つのことを見なければならない  神様が持ってきて　神様があらかじめ　　世界福音化に合うように  与える人　　　　　答えた人　　　　　産業を祝福した人  △荒野40年で三つのことを見た人  1.神様が造られた真の私-神様の9つの時刻表の中にいる人  1) 3超越2) 3セッティング3) 3空前絶後  2.神様が願われる私のこと-幕屋中心の人だけ答えを受けた  1)モーセはただ幕屋、会見の天幕、天幕中心  2)ダビデは神殿中心  3)初代教会で教会が完成される  3.神様がすべてを持って来られる私の現場-幕屋の外にある三つの庭だ  1)異邦人の庭-237を意味  2)祈りの庭-いやしを意味  3)子どもたちの庭-RTサミットを意味  □結論\_ 「今」この契約を握るとき、神様は「すべての所」に働かれる  「主の使いが」 -神様がおもにみことばを送られるときに送られる  「主の天使が」-神様がおもに重要なお手伝いをさせるときに起きる  「主の軍勢が」 -霊的戦争が起きるときに送られる  ・創32:23-32主の使いを送ってヤコブと相撲(イスラエルという名前を与えられる)  ・出14:14正確な契約を握るとき主の使いが前後で保護  ・詩103:20-22神様のみことばとみこころを成し遂げる主の軍勢  ・Ⅱ列19:35主の使いがアッシリヤ軍の兵士を呼んで行かれる(ヒゼキヤ王の祈り)  ・ダニ3:8-24 4,5次元の世界を越える主の使いを送って保護  ・ダニ6:22主の使いが獅子の口をふさぐ  ・使12:1-25主の使いがヘロデ王を刺す(初代教会が祈ったとき)  ・使27:24主の使いが-恐れてはなりません!カイザルの前に立ちます |